

### 第3学年 総合的な学習の時間 学習指導案

白浜町立富田小学校

教諭 廣畑智大

#### 1. 単元名 「高瀬川のホタル」

#### 2. 単元の目標

- 蛍の生態や高瀬川周辺の環境についての知識を理解することができる。(知識及び技能)
- ほかの河川と高瀬川を比べることで、高瀬川の蛍が住む高瀬川の価値を認識するとともに、蛍を守ることが高瀬川周辺の環境を守ることに繋がっていることに気づくことができる。(思考力・判断力・表現力など)
- 蛍の住む身近な高瀬川を守ろうとする目的意識を持ち、どのようなことをすれば川の環境を守っていけるかを考えようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)

#### 3. 単元について

##### (1) 教材観

本単元は社会科「町たんけん」で、地域を散策しているときに見つけた「高瀬川の蛍保護地域の看板のなぜ」を発端としている。蛍の生態を知ることが、地域の川「高瀬川」を知ることにつながり、しいては地域を知ることになると考え、「町たんけん」からの発展教材として取り上げた。

蛍保護看板に書いている内容を読み取り、問づくりをする中で、自分たちが気づいた疑問を解決しようという意欲を高めることができる。また、蛍を調べる中で、地域の川である高瀬川の特徴に気づくことができる。さらには、蛍の住む高瀬川の環境を守ることが、富田地域の水を守ることに繋がっていることにも気づき、地域の環境を守ろうとする態度を高めることが期待できる。

##### (2) 児童観

本学級は男子7名、女子1名の計8名(うち特別支援級2名)のクラスである。休み時間には外で虫取りをして遊び、休みの日には家の近くの溝にいるアカハライモリをとって遊ぶなど、生き物に関心がある児童が多い。半面、当たり前のように生き物が地域に生息している環境について、疑問を持つことは少ない。また、それが地域の良さにつながると感じている児童も少ないであろう。そこで、身近な川である高瀬川が、実は他の地域の河川よりも豊かな川であることを知ることによって、富田地域の良さに気づかせていきたい。地域の良さを知るためにも、本課題を取り上げることに意義があると考えます。

##### (3) 指導観

本単元の指導に当たっては、社会科「町たんけん」で地域を探検したときに見つけた不思議な「蛍保護区域」という看板から、問いづくりを行う。その中で子どもたち

から出てきた疑問「なぜ、ホタルをとると罰金10万円も取られるのか。」を提示し、本単元を始めるためのきっかけとしたい。また、このことを通して、「地域の高瀬川にはホタルが住んでいて、ホタルがいることはどうやらすごいことらしい。」ということに気付かせ、意欲を持たせたい。

次に、ホタルの生態について知っていること、調べてみたいことを話し合い、調べ学習へと入っていききたい。調べ学習では、まずは自分たちで本やインターネットを使って調べる。調べた内容を共有した後、自分たちでは調べられなかった内容やもっと詳しい内容について、ゲストティーチャーを招き、学ばせたい。また、学んだことをまとめる際には蛍の事だけでなく、高瀬川周辺の環境についても考えさせられるように留意したい。

調べ学習後、実際に高瀬川の上流へ探検を行う。その中で高瀬川の周りの環境を観察しながら、「どうすれば高瀬川の蛍を守っていくのか。」について、考えさせたい。そして、考えたことを共有し、実現できることを話し合わせたい。

これらの活動を通して、自分たちが住んでいる地域にある高瀬川の環境の良さをまとめ、環境を守るために自分たちができる活動にもつなげていきたい。

#### (4) ESD との関連

##### ・本学習で働かせる ESD の視点（見方・考え方）

有限性…高瀬川周辺の環境が悪化すると、高瀬川の蛍はいなくなってしまう可能性があるということ。

相互性…高瀬川周辺の環境と蛍はつながっている。しいては、自分たちが住む環境や飲む水にもつながっているということ。

公平性…高瀬川周辺の環境悪化が、蛍の生息に影響を与えてしまう。この蛍を次の世代にもつなげていきたいということ。

##### ・本学習を通して育てたい ESD の資質能力

多面的・総合的に考える力（システムシンキング）

身近な、なじみある普通の川であると思っていた高瀬川にいた蛍について学ぶ中で、高瀬川の新しい価値に気付く。

つながりを尊重する態度

蛍を守ることが高瀬川の環境を守ること、しいては自分たちの生活を守ることにつながる。

##### ・本学習で変容を促す ESD の価値観

世代間の公正・世代内の公正

蛍の住む高瀬川周辺の環境を将来に渡り残していく価値のあるものだと気づいている。

自然環境、生態系の保全を重視する。

自然環境、生態系を守ることは、自分たちの生活を守ることになる。

・達成が期待される SDGs

15 陸の豊かさを守ろう

4. 単元の評価規準

(ア)知識及び技能	(イ)思考力・判断力・表現力	(ウ)主体的に学習に取り組む態度
① 蛍の生態や高瀬川周辺の環境について理解している。	① ほかの河川と高瀬川を比べることで、高瀬川の蛍が住む高瀬川の価値を認識している。 ② 蛍を守ることが高瀬川周辺の環境を守ることに繋がっていることに気づいている。	① 蛍保護区域の看板から調べたいことを考えようとしている。 ② 蛍の生態について、進んで調べようとしている。 ③ 蛍の住む身近な高瀬川を守ろうとする目的意識を持ち、どのようなことをすれば川の環境を守っていけるかを考えようとしている。

5. 単元の指導計画（全11時間）

学習活動	○学習への支援	○評価備考
1 高瀬川の蛍保護地域についての看板から分かることを話し合う中で、調べてみたい疑問を考え、学習の見通しを持つ。 ・富田地域の蛍って、大切にされているんだな。 ・蛍の保護条例をなぜ作ったのかな？ ・蛍をとったら、罰金10万円も取られるのはなぜ？ ・蛍って、どんなところに住んでいるの？	○社会科「町たんけん」で見つけた蛍保護区域の看板を提示し、販売目的で蛍を捕獲した場合、罰金10万円を支払わないといけないことに着目させ、地域にある高瀬川と蛍の関係を調べるという課題を明確にさせる。また、自分たちの知っていること、調べなければいけないことを具体的にしていく。	ウ ① (主体的)
2 蛍の種類や生態などについてインターネットや本などで調べ、調べたことを共有する。 ・日本には51種類いる。 ・ゲンジボタル、ヘイケボタル、ヒメボタル	○蛍について知っている事、調べることをまとめ、タブレット端末で調べ、共有する。また、図書室で本を探したり、教師側から本を提示したりし、自分たちで	ウ ② (主体的) ア① (知識)

<p>が多い。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水の流れがゆるやかなところに住んでいる。</li> </ul> <p>3 調べたことを共有し、振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蛍の住む川の環境ってこれだけかな。</li> </ul> <p>4 ゲストティーチャーを招き、蛍の生態についてのお話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・川の流れや川底の砂も関係しているんだね。</li> <li>・川の周りに暗い場所がないといけないんだな。</li> <li>・高瀬川探検のときに、周りの様子も見ながら歩きたいな。</li> </ul>	<p>調べ学習を進める。</p> <p>○自分たちで分からなかったことを中心に、GTを招いて話を聞く。</p>	
<p>5 6 7 8 9</p> <p>高瀬川の探検に出かける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・川の流れがゆっくりしている。</li> <li>・川底には砂や砂利があるよ。</li> <li>・周りは木が茂っている。</li> <li>・「富田の水」をつくっている場所があった。</li> <li>・七福神の場所で水がくめるようになってる。</li> <li>・川岸がコンクリートで固められていたよ。</li> </ul> <p>10 高瀬川探検で分かったことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高瀬川の周りは、蛍の住めそうな環境だった。</li> <li>・他の地域の川は周りがコンクリートに固められていて、生き物が少ないよ。</li> <li>・ゴミが捨てられているところもあったなあ。</li> <li>・蛍がずっと住める川になってほしいなあ。</li> </ul>	<p>○高瀬川の水源地を求めて歩いていく中で、川とその周りの様子を確認させていく。その際、前時にまとめた情報を照らし合わせながら比較していければと思う。</p> <p>○市販されている「富田の水」をくみ出している工場や探検のゴールである七福神像の水くみ場など、高瀬川の上流には「飲み水」に関する場所が多いことを認識させた。</p> <p>○西富田地域の安久川と比較することで、高瀬川の良さに気付かせる。</p>	<p>イ① (思考力) イ② (思考力)</p>
<p>11 高瀬川の蛍を守っていくために、自分たちにできることを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミ拾いをしにいこう。</li> <li>・看板を立てたらいいんじゃないかな。</li> </ul>	<p>○児童がしていきたい活動を話し合い、今後の活動へつなげていきたい。</p>	<p>ウ ③ (主体的)</p>

・おうちの人にも話をしておくよ。		
------------------	--	--